

第17回八幡湿原自然再生協議会議事録（要旨）

- 1 日 時 平成21年6月13日(土) 13:00～14:40
- 2 場 所 山県郡北広島町川小田 北広島町芸北文化ホール
- 3 出席委員 委員総数30名中22名出席
- 4 議 事
- 1 開会
 - 2 委員等の紹介, 副会長の選出
 - 3 議題
 - (1) 協議事項
平成21年度八幡湿原自然再生工事について
 - (2) 報告事項
 - ①本の執筆について
 - ②平成21年度モニタリング計画について
 - ③空撮について
 - ④その他
 - 4 その他
- 5 担当部署 広島県 環境県民局 環境部 自然環境課
電話：(082)513-2933(ダイヤルイン)
広島県 西部農林水産事務所 林務第一課 自然保護係
電話：(082)228-2111(内線5450～5453)

6 会議の内容

○委員等の紹介, 副会長の選出

- ・ 人事異動等による委員の交代に伴い, 委員の紹介を行った。
- ・ 委員の互選により, 村上委員を副会長として選出し, 承認した。

○議題

(1) 協議事項

平成21年度八幡湿原自然再生工事について

【事務局説明】

①工事の概要(観察路, 木橋, 河川改修, 床固工及び標識工)について

②第16回協議会からの変更事項について

ア 観察路ルート

- ・ 現地の再生状況等を考慮した結果, 観察路のルートを一部変更した。

イ 歩道法面の工法

- ・ 歩道法面のフトンカゴは, 設置表面まで水位のある箇所が多くみられ, 表面に

露出しないように施工することが不可能なため、フトンカゴを 30cm 程度、露出させ、保護材を張って覆うこととする。

ウ 木道の高さ

- ・木道の高さを 60cm 以下での施工を検討していたが、地形に合わせて施工した場合、一部区間で 60cm より高くなる区間が生じることとなった。(木道全体 738m のうち約 21m)。

エ 広場の木柵及びロープの設置

- ・木柵及びロープを、景観上目立たない種類に変更する。

③第 16 回協議会からの継続課題について

ア 木道の離合箇所

- ・離合箇所の設置の要望を受け、木道を拡幅した形状のもの(幅 0.6m・延長 3.8m)と、木道に直角の向きのもの(幅 0.6m・延長 3.8m~7.6m)をそれぞれ 12カ所と 4カ所、合計 16カ所を設置する。
- ・離合箇所の間隔は約 25m に 1箇所とする。

イ 案内標識

- ・町道沿いの歩道に設置する標識は、自然再生工事の概要がわかる内容のものを設置し、河川沿いに設置する 2基は、自然再生の目的や特徴がわかる内容のものを設置することを検討している。
- ・デザイン等内容については、次回協議会までに事務局案を提示する。

ウ 側溝改良

- ・予算の関係上、今年度は施工しない。

④その他

ア 法面保護材

- ・盛土歩道に使用する法面保護材は、ココナッツ繊維と紫外線耐久処理ポリプロピレンを使用する。

イ 舗装材

- ・盛土歩道に使用する舗装材は、ジオベストを使用する。
- ・ウッドチップについても検討したが、腐食防止剤や固化剤を併用するため、処分する場合には産業廃棄物となる。また施工単価も高く、メンテナンスも必要となるため、今回は不採用とした。

ウ 説明会

- ・工事着工前の 7月下旬~8月中旬に、委員を対象とした現地説明会及び地元説明会を予定している。

【意見・質問等】※

※協議を円滑に進めるため、当日午前の各部会で検討された内容を報告した後、全体

で協議することとしている。

① 整備部会意見（野村委員より説明）

- ・ 観察路については、概ね事務局から提示されたもので了承したが、離合箇所が直角の向きのものについては、Cルートに4カ所、集中して設けられているので、Aルート、Bルートにも1~2カ所はあっても良いのではないかという意見が出された。現地を確認した上で、設置箇所について検討してほしい。
- ・ 河川改修については、現段階で土砂の流出がそれほど多くないという結果を得ているので、事務局案で示された最小規模のもので了承した。
- ・ 標識については、当面最小限で、この事業の説明板を設置することについて了解を得た。河川沿いに設置する2カ所については、景観上、あまり目立たないものにしてほしいという要望もあり、現地で設置場所を確認した後、決定してほしい。
- ・ 歩道法面のフトンカゴについては、事務局案を了承した。
- ・ 木道の高さについても、部分的には若干高いところが生じるが、やむを得ないということに了解した。
- ・ 法面保護材あるいは舗装材については、様々な議論があり、一長一短あるところだが、事務局案で了解した。
- ・ 木道や標識については、雪荷重に対する強度について確認した後、設置してほしい。
- ・ 広場の木柵について、高さが80cmぐらいのものが提示されたが、景観を考慮して、高さが50cm程度の低いものとし、ロープも1本にしたらどうかという提案をした。ロープについては冬季に取り外すことを前提にした設計にしてほしい。
- ・ 町道と町道沿いの歩道の上に境界ブロック（15cm蹴上げ）を設置する計画だが、車いす利用者が観察することを考慮すると、車いすでも越えられる低いタイプの境界ブロックを数箇所、設置してほしい。

② 普及部会意見（白川委員より説明）

- ・ 観察路・工法については、事務局案を了承した。ただし、舗装材（ジオベスト）については、説明資料では「環境に優しい」とされているが、アルカリ性なので外来種が確実に生えてくることを認識したうえで、現在の選択肢の中では一番良いだろうということに了承した。
- ・ 河川改修の工法については堰堤の高さなども含めて事務局案を了承した。
- ・ 堰堤の左岸側に、工事用車両の通行のために土砂を入れていることで「水たまり」が出来ているが、この「水たまり」が工事後も残るように工夫してもらいたい。
- ・ 堰堤の右岸側区域については、現在、補助導水路が整備されていないが、広い面積で伐採を行っている。放置しておく、再び藪になってしまうため、この区域の管理計画については整備部会も含めて話をする必要があるということに意見が一致した。

- ・二川キャンプ場付近のT字路について、交差点が藪になっていて見通しが悪く危険であるので、霧ヶ谷湿原の管理に関連して、管理できるか検討していただきたいということを事務局に要望した。
- ・霧ヶ谷湿原を訪れた方が、「ここが霧ヶ谷湿原だ」とわかるような、「霧ヶ谷湿原」と標記された石柱、看板等の銘板が将来的に必要であろうという意見が出された。

③ 全体協議

【協議の要旨】

ア 木道の離合箇所について

- (委員) 整備部会で直角の離合箇所を増やすという意見が出ていたようだが、具体的にはどういった意見であったのか教えてほしい。
- (委員) 事務局案では直角の離合箇所をCルートに4カ所計画しているが、AルートやBルートでも1~2カ所できないかといった意見が整備部会に出て、最終的には予算の範囲内で1~2カ所設置可能か、現地を見ながら判断したいという話となった。
- (議長) 離合箇所については、現地で確認をしながら調整していくということによるのでしょうか。

(委員了承)

イ 標識について

- (委員) 整備部会での議論の補足となるが、設置する標識については2通りの内容が考えられる。1つはこの事業の進め方について紹介するもの、もう1つは、湿原の状況について紹介するものと考えている。前者については作ったものを更新する必要はないが、後者については年数を重ねると共に植生も移り変わるため、紹介すべき植物等が変わってくるだろうということで、更新ができるような仕組みが必要であるという意見が出た。
- また、銘板の設置という話が普及部会から出たが、記念撮影用のポイントに標識を設置する等により、写真家が撮りたい風景を残せるような設置の仕方が必要ではないか。
- (事務局) 標識の設置場所や内容等の詳細については、まだ検討段階であり、次回以降の協議会等で、再度協議をしていただきたい。
- (委員) 観察の見所がある木道の離合箇所に、季節ごとに見られる動植物の説明板を設置して欲しい。
- (事務局) 全ての離合箇所に設置するのは予算を考慮すると不可能なので、数カ所に設置できればと考えている。
- (委員) 今年度の工事が済んだ後でも、標識や解説板等の整備は可能だと思う。今年度の工事で可能な限り設置していただき、プレート等により取り換えられるような標識の設置についても合わせて検討していただきたい。個人的

な意見となるが、様々な解説板の設置はいいことだと思う。例えば今後のメンテナンスのことを考えて、企業スポンサーの名前をはめたり、バナー広告的なものを設置したりといろいろと工夫しながら、皆が参加して、良いものを紹介していく体制に発展していければ良いと思っている。

ウ その他

(委員) 舗装材がアルカリ性であるため外来種が生えてくるとのことだが、具体的にはどのような種が生えてくるのか。

(委員) 町道沿いにあるようなフランスギクやブタナなどが生えてくるのではないかと予想している。

【協議のまとめ】

- ・平成 21 年度八幡湿原自然再生工事については了承され、今回、協議された木道の直角型離合箇所については現地で確認、検討後に、設置箇所を決定することとした。
- ・標識については、次回の協議会で設置箇所や内容の詳細を再度、協議することとした。

(2) 報告事項

① 本の執筆について（白川委員より報告）

- ・本年度 9 月 26 日から行われる全国草原サミット・シンポジウムに合わせて八幡湿原自然再生事業を紹介する本を出版する目標としていたが、現時点でまだ原稿が出揃っておらず、編集が進んでいないため、9 月末の出版は難しい。
- ・全国草原サミット・シンポジウムとは別に、平成 22 年度に八幡湿原自然再生シンポジウムを開催することを会長が提案されており、それに向けて出版の準備を進めていきたい。

② 平成 21 年度モニタリング計画について（事務局より説明）

- ・水生生物調査を、昨年度調査した地点（事業区域 5 カ所、水口谷 2 カ所、千町原 1 カ所、二川キャンプ場 1 カ所、計 9 カ所）で計画している。
- ・水位観測、流量調査、土砂量調査についても、昨年と同じ方法で観測を行う。
- ・粒径試験については、昨年度土砂の流出の観測が見られていなかったこともあり、予算の関係上、実施しない。

③ 空撮について（福芳委員より説明）

- ・今年度も 8 月に空撮を予定しており、昨年度同様、東京大学、早稲田大学等と共同して小型飛行機により事業地を撮影し、画像の編集を行う予定である。

④ その他（事務局より説明）

ア 八幡湿原自然再生事業のパネル展示について

- ・IBM 株式会社が 6 月 16 日に広島国際会議場で開催する環境シンポジウムのなかで

八幡湿原自然再生事業のパネルを展示する予定である。

- ・このパネルは9月末に北広島町で開催される全国草原サミット・シンポジウムでも展示して、八幡湿原自然再生事業を紹介しようと考えている。

イ IWAD 環境福祉専門学校の紹介について

- ・来年度、IWAD 環境福祉専門学校 みどりの環境学科 自然環境再生コースが創設される予定である。
- ・先日、この学校の理事長から、八幡湿原自然再生で何かお手伝いできることが無いだろうかというお話を受け、中越会長に相談したところ、ぜひ一度協議会に呼んでみてはどうかという話であったので、次回の協議会に参加していただこうと考えている。

【意見・質問等】

- (委員) IWAD 環境福祉専門学校在自然再生事業に積極的にかかわってこられるというのであれば、委員として関わっていただくことを検討していく必要があるのではないか。
- (委員) 理事長とお会いしたとき、八幡湿原自然再生の話をしたら、「ぜひフィールドとしてモニタリングの勉強を学生にさせてみたい」ということであった。学生によるモニタリングが実施できれば、自然再生事業に非常に有意義なことだと考えている。
- (委員) 次回の協議会はシーズンオフの手前であるため、できれば次回の協議会までに、実際に現地を見ていただくことを検討していただければと思う。
- (委員) 県道もしくは国道における八幡湿原等への案内標識の設置について要望したい。
- (委員) 県道、国道ということになると土木の部局が担当になると思うが、県の関係機関に要望を伝えていただきたいと思う。町の立場で言うと、県道から二川キャンプ場へ向けての町道が狭いということについて町長も問題意識を持っており、現在、町道改修工事を計画している。誘導看板の必要性については町でも認識している。

○その他（事務局より説明）

- ・現地説明会、地元説明会の開催については、7月末～8月中旬の日程で調整し、後日、メーリングリスト等で連絡する。
- ・次回協議会は10月上旬頃を予定している。

○閉会

7 会議資料

次第

協議会委員名簿

協議会設置要綱

平成 21 年度自然再生工事

平成 21 年度モニタリング計画

平成 20 年度霧ヶ谷湿原水文調査結果報告書

自記記録式水位計の水位変動

八幡湿原自然再生事業パネル

IWAD 環境福祉専門学校の紹介

出席委員一覧表（敬称略）

分野	ふりがな 氏名（※は代理出席）	所属等	備考
専門家(植物)	なかごし のぶかず 中 越 信 和	広島大学教授	欠 席
専門家(動物)	みずた くによす 水 田 國 康	広島虫の会 名誉会長 広島県立大学 名誉教授	欠 席
専門家(土木)	のむら よし はる 野 村 吉 春	土木学会 コンサルタント委員 西中国山地自然史研究会	
専門家（環境教育）	しらかわ かつのぶ 白 川 勝 信	高原の自然館（北広島町教育委員会） 主任学芸員	
地元住民代表	こんどう こうじ 近 藤 紘 史	西中国山地自然史研究会 会長	
	かわ うち のぶ ただ 川 内 信 忠	八幡地区行政区長会 会長	
公募委員 （個人）	あお き しん 青 木 晋	(株)LAT	
	うえ の よし お 上 野 吉 雄	西中国山地自然史研究会会員	
	おお た み 果 大 田 実 果	ヒョウモンモドキ保護の会	
	かみて しんいち 上 手 新 一	北広島町（旧芸北町）出身	
	たか き しげる 高 木 茂	カキツバタの里づくり実行委員会	欠 席
	たさか もとおみ 田 坂 素 臣	元広島県鳥獣保護員	
	なかた たかかず 中 田 隆 一	元NHK広島 気象キャスター	
	まさもと よしただ 正 本 良 忠	みずえ緑地（株） 会長	
	むねおか やすあき 宗 岡 泰 昭	写真家	
	やまもと たかよし 山 本 高 義	内外エンジニアリング（株） 広島事業所長	欠 席
	わた なべ その こ 渡 邊 園 子	西中国山地自然史研究会会員	

（次ページに続く）

分野	ふりがな 氏名 (※は代理出席)	所属等	備考
公募委員 (団体・法人)	たかつき あきひこ 高月 明彦※	特定非営利活動法人 (NPO法人) 海外壮年協力隊 広島支部 副理事	欠席
	いしい やすゆき 石井 泰行※	西条・山と水の環境機構 理事長 (西条酒造組合10社で構成)	欠席
	ふくもと たけし 福本 健※	特定非営利活動法人 (NPO法人) ちゅうごく環境ネット 理事長	代理 やまきま わたる 山崎 亙
	てらだ たつあき 寺田 達明※	中電技術コンサルタント(株) 取締役社長	代理 おおたけ くにあき 大竹 邦暁
	すぎむら いさお 杉村 功※	(社)日本山岳会 広島支部 支部長	代理 いつき たかし 斎 陽
	ちかみつ あきら 近光 章※	(財)広島県環境保健協会 理事長	代理 わだ しゅうじ 和田 秀次
	あらかわ じゅんたろう 荒川 純太郎※	ひろしま人と樹の会 会長	代理 うねざき たつと 畷崎 辰登
関係行政機関	かわはら たけし 河原 武※	環境省 中国四国地方環境事務所 自然再生企画官	欠席
関係地方公共団体	むらかみ あきお 村上 明雄	北広島町 副町長	副会長
	いけだ しょうまく 池田 庄策	北広島町 教育委員会教育長	欠席
広島県	よし の えいさく 吉野 栄作	広島県 西部農林水産事務所長	
	ふくよし たかひろ 福芳 隆博	広島県立総合技術研究所 林業技術センター 林業研究部長	
	たにむら きょうすけ 谷村 恭佐	広島県 環境県民局 環境部 自然環境課長	
委員総数30名中22名出席			